

いいたて
便り

5/1 焼肉のイベントが 開かれまして

▼「おいしいです」と高橋文治さん



▲笑顔を見せる小林多美江さん



松川第2応急仮設住宅の駐車場を使って、住民らに焼肉をふるまうイベントが開かれました。420人分の牛肉は、牛を連れて避難し千葉県で牧場を営む小林将男さん(関沢)らのグループが提供し、社会福祉協議会の協力により開催されました。牧場を離れられない将男さんに代わって来場した妻の多美江さんは、住民と久しぶりの再会を喜び合っていました。

レタスと一緒に盛られた焼肉が配られると、手にした人は顔をほころばせて口に運んでいました。住民の高橋文治さん(飯樋町)は「たまたま仕事が休みで参加できました。すごくおいしいです」とジューシーな肉の味を称賛していました。



▲おいしい香りが広がった会場のようす

5/10 主張発表大会で菅野皆子さんが 優秀賞を受賞

県商工会女性部主張発表大会がいわき市の小名浜オーシャンホテル&ゴルフクラブで開かれ、6地区の代表6人が発表を行い、相双地区代表として参加した菅野皆子さん(関根・松塚)が優秀賞に選ばれました。菅野さんは、「美しい村づくり」と題した主張の中で、飯館村商工会女性部のこれまでの活動と「までいライフ」を紹介し、原発事故後も変わらないふるさとへの思いを訴えました。



▲主張を発表する菅野さん

▶前列左から3番目が後藤騎手



▲競馬予想も体験しました

福島競馬場招待会で 後藤騎手に再会

震災後に福島競馬場の寮舎に一次避難していた村民が招待を受け、営業再開した福島競馬場を訪れました。20人の参加者は特別に、テレビ中継をするスタジオや、パドックの馬主席、窓ガラスに遮られることなく観戦できる招待席など、リニューアルした施設を案内され、競馬を楽しみました。

また避難中に慰問と支援に訪れていた後藤浩輝騎手と再会。参加者を代表して小林洋子さん(小宮)が寄せ書きを手渡し感謝を伝えると、後藤騎手は「会えるのを楽しみにしていました。まだまだ大変だと思いますが、頑張ってください」と述べて参加者1人1人と握手を交わしました。

4/28

直売所「なごみ」の 命名記念式典

今年1月にオープンした松川第一応急仮設住宅敷地内にある直売所で、愛称の命名記念式典が開かれました。愛称は広報紙を通して募集され、大東勝江さん(深谷)考案の「なごみ」が採用されました。この日は店の入り口に掲げられた木製の看板の除幕が大東さんらの手で行われ、あわせて直売所は記念セールを開催。店内はお買い得商品を求める客でにぎわい、来店者の1人は買い物かごを片手に「いい名前がつけましたね」と笑顔を見せていました。

▶大東さんにはトマトジュース1箱が贈られました



▼セールでにぎわう店内



いいたて
便り

4/21

ひと月のできごとを
振り返ってお知らせします